

報告事項（１）

平成２６年度全国高等学校総合体育大会の概要

１ 全国高等学校総合体育大会

- (1) 全国高等学校総合体育大会（インターハイ）とは
全国高等学校体育連盟（昭和２３年発足）が、全国各地で個別に開催されていた競技種目別選手権大会を昭和３８年度の新潟大会から統合して誕生した大会であり、現在では、規模及び内容において高校生最大のスポーツの祭典に発展し、夏季大会及び冬季大会が開催されている。
- (2) 目的
教育活動の一環として高等学校（中等教育学校後期課程を含む。）生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成する。
- (3) 主催
公益財団法人全国高等学校体育連盟、開催地都道府県、同教育委員会、関係中央競技団体、毎日新聞社
- (4) 後援
文部科学省 公益財団法人日本体育協会 日本放送協会 都道府県体育協会
- (5) 大会規模（夏季大会）
 - ①競技数 ３０競技
 - ②参加者 約３５，０００人（選手・監督・役員等）
 - ③期 間 原則として８月１日から２０日までの間のおおむね１７日間
 - ④経 費 約３０億円（過去の県単独開催の場合）
※ うち総合開会式 約３億円（平成２０年度埼玉県）、約１億５千万円（平成２２年度沖縄県）

２ 大会の開催地

- (1) 平成２２年度沖縄県開催をもって都道府県単独開催は終了（一巡終了）
- (2) 平成２３年度以降は全国を地域割りしたブロック開催（東→中→西の輪番）
- (3) 平成２６年度は関東ブロック南関東として、東京都、千葉県、神奈川県及び山梨県で開催

年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度
地域 (ブロック)	東 (北海道・東北・ 関東)	中 (北信越・東海・ 近畿)	西 (中国・四国・ 九州)	東 (北海道・東北・ 関東)
都県名	(北東北) 青森、秋田、岩手	(北信越) 新潟、富山、石川、 福井、長野	(北部九州) 大分、福岡、佐賀、 長崎	(南関東) 東京、千葉、神奈川、 山梨

3 競技種目分担の基本的な考え方

- (1) 実施競技数は四都県で均等に割り振る。
- (2) 総合開会式を担当する都県は実施競技数を軽減する。
- (3) 全国規模の大会開催実績、人口、財政基盤、高等学校体育連盟専門部の運営役員等の状況を総合的に勘案し、実施競技を分担する。
- (4) 競技種目によっては、男女や種目分野別に開催地を分離して運営する。

4 各都県の実施競技種目等

東京都	千葉県	神奈川県	山梨県
総合開会式			
体 操	水 泳	ハンドボール	陸上競技
バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	卓 球
サッカー (女子)	ソフトテニス	剣 道	サッカー (男子)
相 撲	バドミントン	レスリング	ボート
弓 道	柔 道	登 山	自転車競技
テニス	空手道	ボクシング	ホッケー
なぎなた	アーチェリー	ヨット	ウエイト リフティング
	少林寺拳法	フェンシング	カヌー